

ハウストマトにおける時間開閉式遮光処理の効果

福島県農業試験場野菜部
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜—トマト—施設資材
分類コード 03-04-17350000

2 担当者

岡崎徹哉

3 要旨

雨除けハウスの遮光資材による時間開閉式遮光処理は、ハウス内の気温上昇を抑制し、トマトの収量、品質を高めることができた。また、遮光を行う時間帯については、午前9時～午後4時の処理効果が高かった。遮光資材は、遮光率55～60%のものをを用い、フィルム巻き上げ機により開閉した。

- (1) 遮光するとハウス内の日射量は、1/3程度にカットされる。またハウス内の気温は、最大3℃程度低下する。
- (2) 遮光する時間帯を午前9時から午後4時とすると、茎径が細くならず生育が良かった。
- (3) 開花数、着果数は遮光することで多くなった。
- (4) 遮光することで増収したが、遮光する時間では収量差は見られなかった。
- (5) 遮光する時間帯を午前9時から午後4時とすると平均果実重量は重くなり、障害果の発生は少なくなった。
- (6) 遮光することで、裂果や尻腐れ果の発生割合は減少したが、空洞果の割合は増加した。

4 その他の資料等

なし